



あらかわ区報 Jr.

ArakawaKujo Junior

平成28年 11/16 発行 荒川区 ● 23,000部発行
〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 ☎(3802)3111



もともとは
湯を沸かすのも
三助の仕事
だったんだよ



その一

以前、銭湯には「三助」と呼ばれる人が働いていました。次のうち「三助」の仕事は？

- 1 風呂場で歌う
- 2 お客の背中を流す
- 3 銭湯の宣伝をする

銭湯の壁画にも
意味があるんだね



その二

「縁起が悪い」ということから、銭湯の壁画に描いてはいけないと言われる生き物は？

- 1 サル (客が去る)
- 2 トラ (運を取られる)
- 3 サメ (湯が冷める)

知るほど楽しい! 温かい!

銭湯の裏側を

見てみよう

下町の情緒が息づく荒川区は、銭湯の多い地域としても知られています。銭湯は、人々の心も体も温まる、地域の社交場。今号では、普段は見るできない銭湯の裏側を紹介します。まずはクイズにチャレンジしてみよう。

問合せ 産業振興課 ☎内線477



▲第二峡田小5年のジュニア記者たちが取材するよ!
左から多田圭祐くん、手塚風輔くん、田中瞳生くん

その三

江戸時代、銭湯で脱衣所が見える位置に「番台」が作られるようになった理由とは？

- 1 ケンカを防ぐため
- 2 客と交流するため
- 3 盗みを見張るため



その四

昔、銭湯では「わ」と書いた板(湯が「沸いた」の意味)を出して「営業中」であることを知らせました。では「営業終了」を知らせる文字は？

- 1 板に「ひ」
(お客さんが引いた)
- 2 板に「ぬ」
(湯を抜いた)
- 3 丸い板に「し」
(店が閉まる)

「わ」の札が
出ていたら
営業中だよ



江戸に初めて銭湯ができたのは1591年。400年以上も昔から、人々に親しまれてきたじゃな。荒川区は、東京23区内の人口比で見ると、2番目に銭湯が多い。日本で最後の三助が活躍した、銭湯の伝統が息づく地域なんじゃ。そうした文化を守り育てるため、区ではさまざまな支援を行っておるんじゃよ。最近、サウナや露天風呂などのある銭湯も増えておる。みんなも、気軽に出かけてみよう。

●クイズの答えは3面下にあります



あらかわ区報 Jr. は荒川区ホームページでご覧になれます。
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kusei/koho/koho/arakawakuhojr/index.html>



次は12月に発行する予定です